

関西経済レポート(2021年8月)

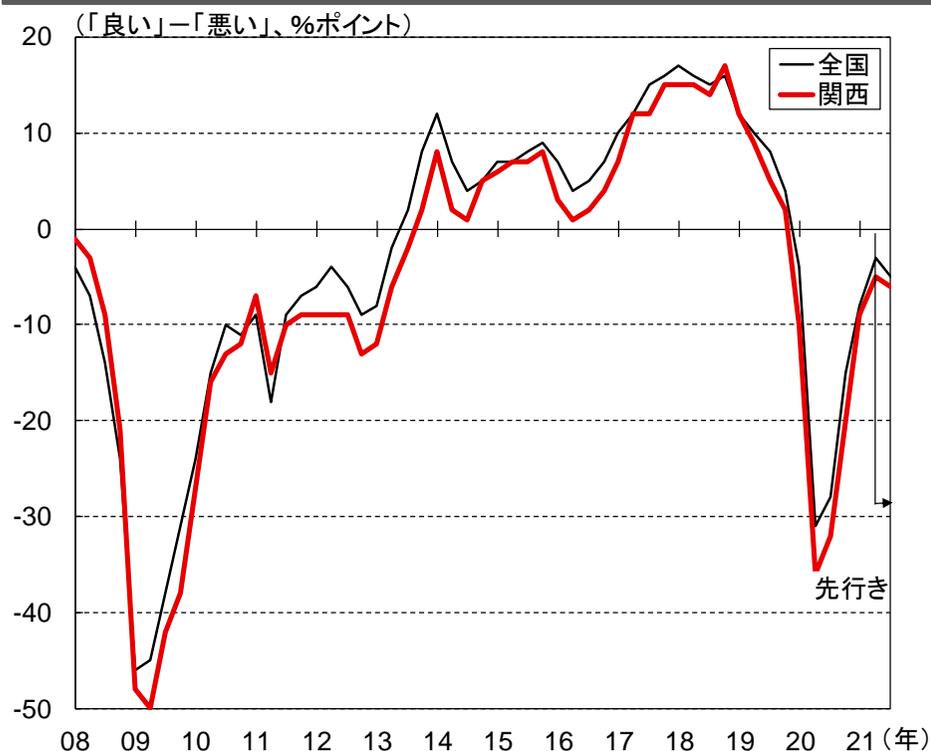
2021年8月27日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(大阪)

概況・景況感

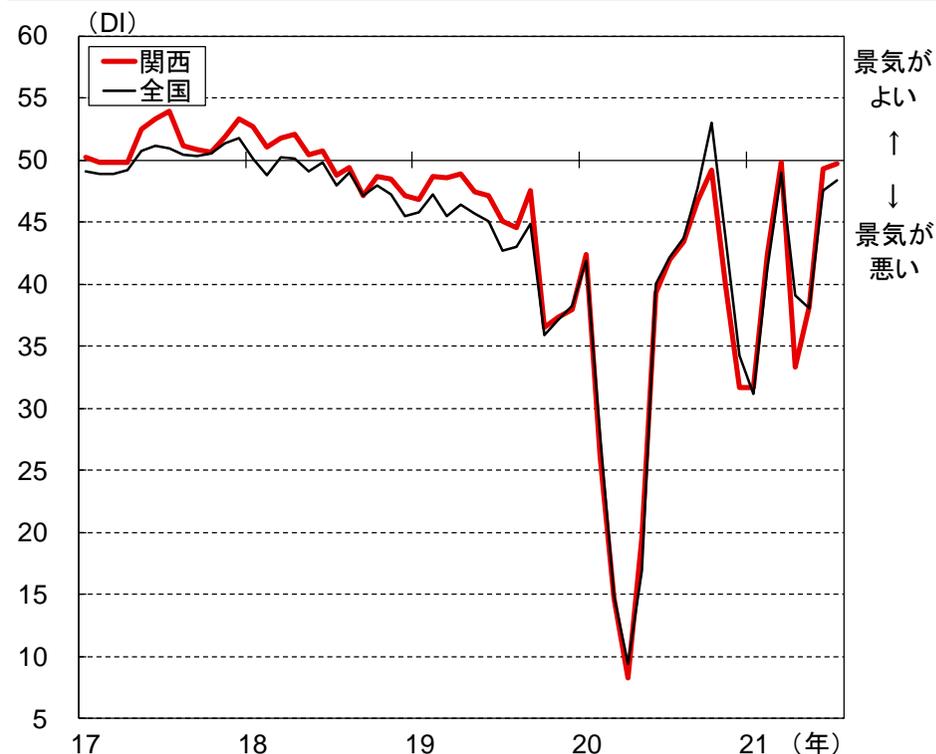
- 関西経済は総じて持ち直し基調にあるが、8月に入り大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県に緊急事態宣言が発出されるなど、当面はサービス消費を中心に弱含みで推移する見込み。その後は、ワクチン効果の顕現による各種制限措置の段階的な解除を受け、景気の回復基調は安定化していくと予想。
- 日銀短観の6月調査における業況判断DIは▲5%ポイントと引き続きマイナスながら、4四半期連続で改善。
- 景気ウォッチャー調査の7月の現状判断DIは49.7、前月比では+0.4ポイントと3カ月連続で上昇。調査回答時点(～7月末)では一部地域のまん延防止等重点措置が解除されていたこと等を受け、改善が継続。

日銀短観(業況判断DI)



(注) 全産業・全規模ベース
(資料) 日本銀行大阪支店統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)

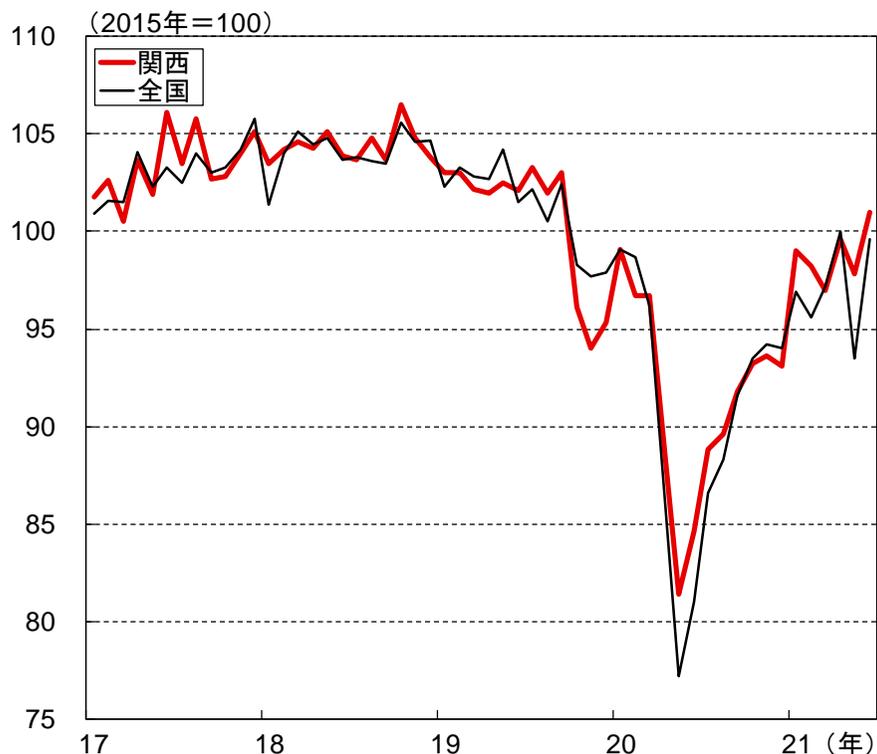


(資料) 内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産

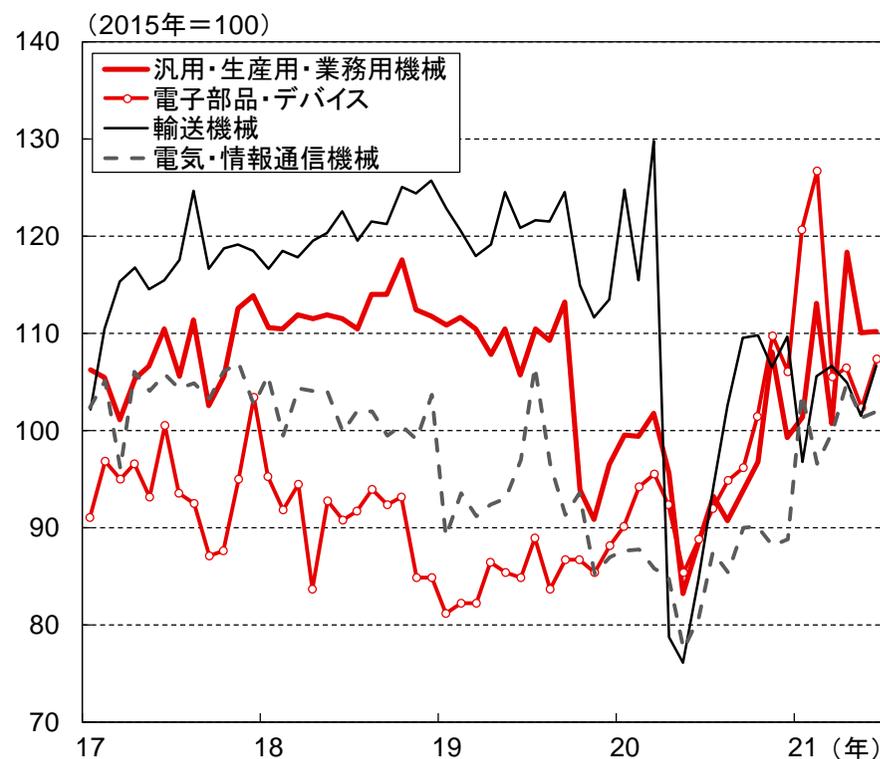
- 6月の鉱工業生産指数は前月比+3.3%と増加。水準ではコロナ禍前の2019年同月比▲1.1%まで回復。
- 業種別では、金属製品は前月比マイナスとなった一方、世界的な半導体需要の拡大等を受け電子部品・デバイスが前月比+4.9%と拡大したほか、輸送機械も同+5.1%と増加。また、設備投資の底堅さを背景に、汎用・生産用・業務用機械は高水準が継続(前月比では+0.1%と略横這い)。

鉱工業生産指数



(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

鉱工業生産指数(業種別、関西)

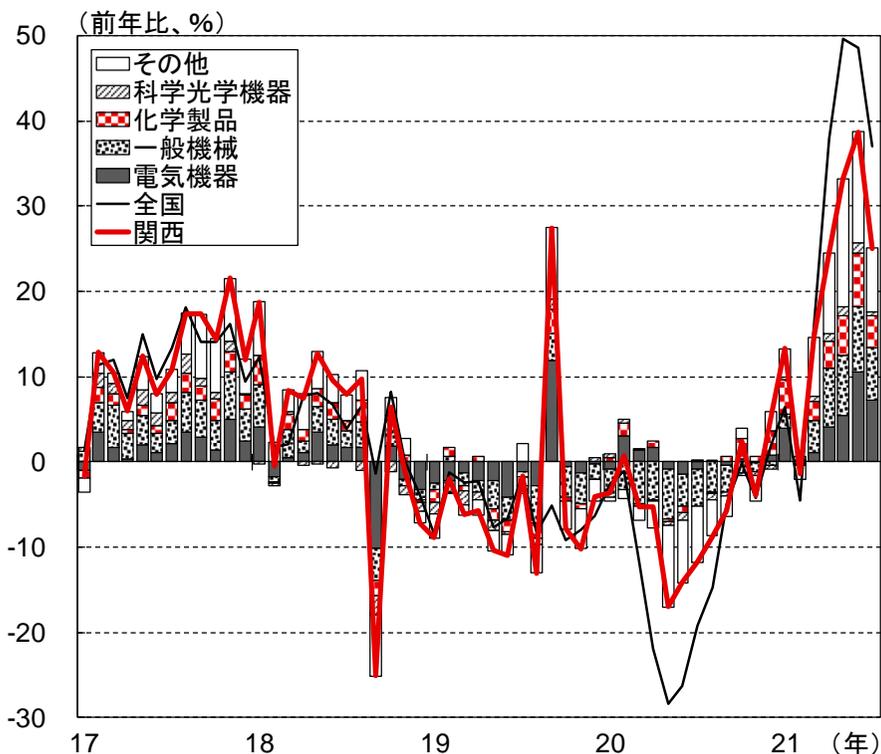


(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出・設備投資

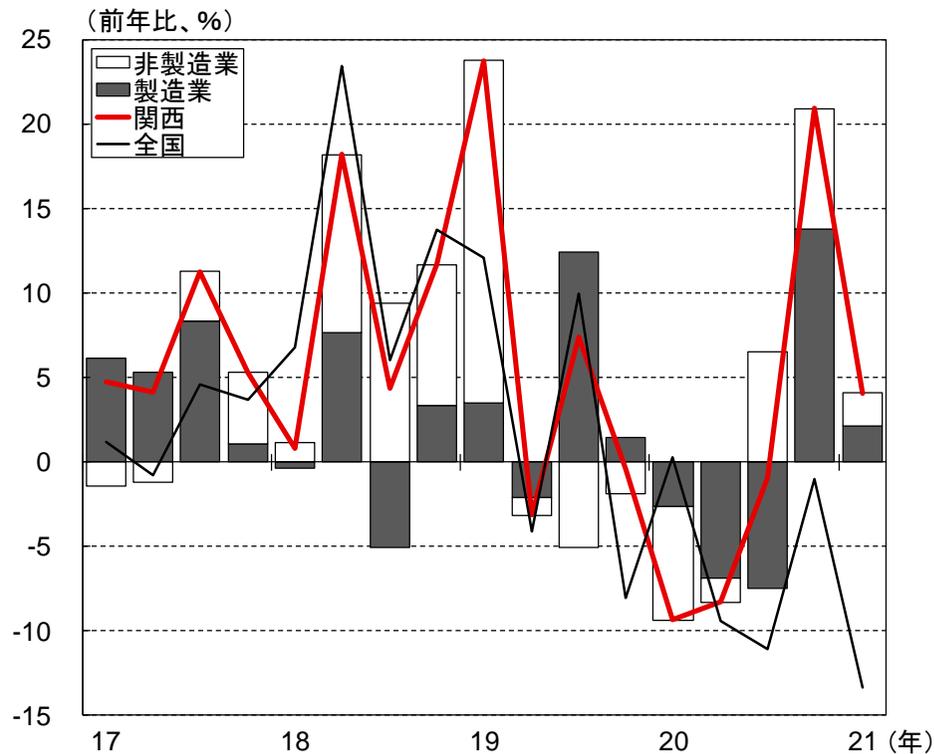
- 7月の輸出額(円ベース)は前年比+25.0%と5ヵ月連続で二桁の増加、コロナ禍前同月を+10.3%上回る水準。品目別では、主力の電気機器(前年比+23.3%)や一般機械(同+29.7%)、化学製品(同+26.4%)が好調。仕向け地別では、最大シェアを占めるアジア向けの拡大が最も大きく寄与。
- 1-3月期の設備投資額(資本金10億円以上の大企業、含むソフトウェア)は前年比+4.1%と2四半期連続で増加。このうち、製造業は同+5.6%、非製造業も同+3.2%とともに増加。

輸出額(関西)



(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

設備投資額(大企業、関西)

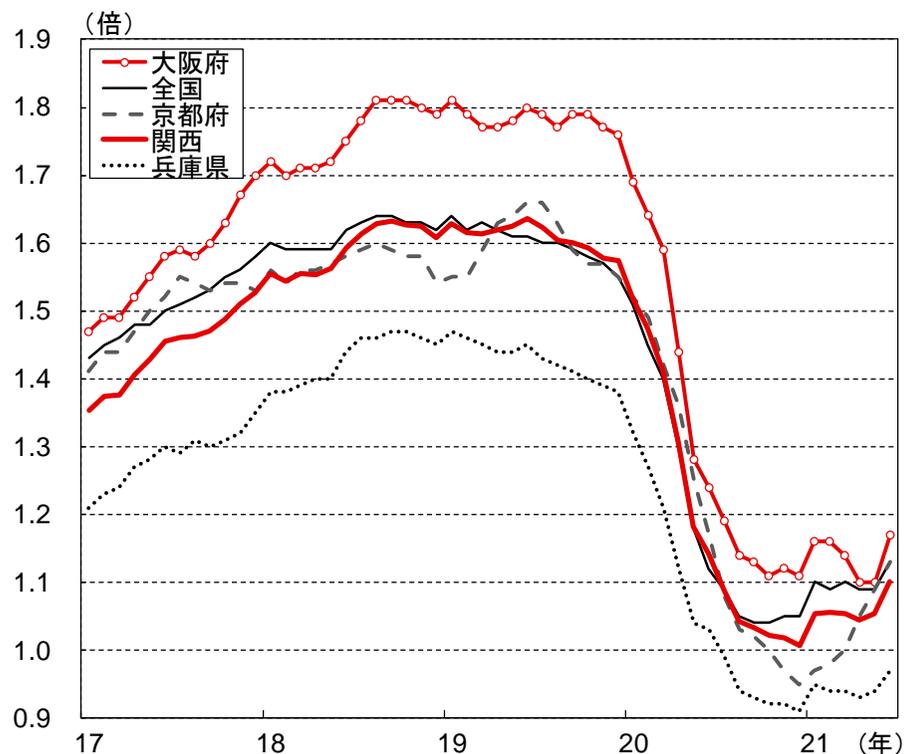


(注)資本金10億円以上、含むソフトウェア
(資料)近畿財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

雇用・個人消費

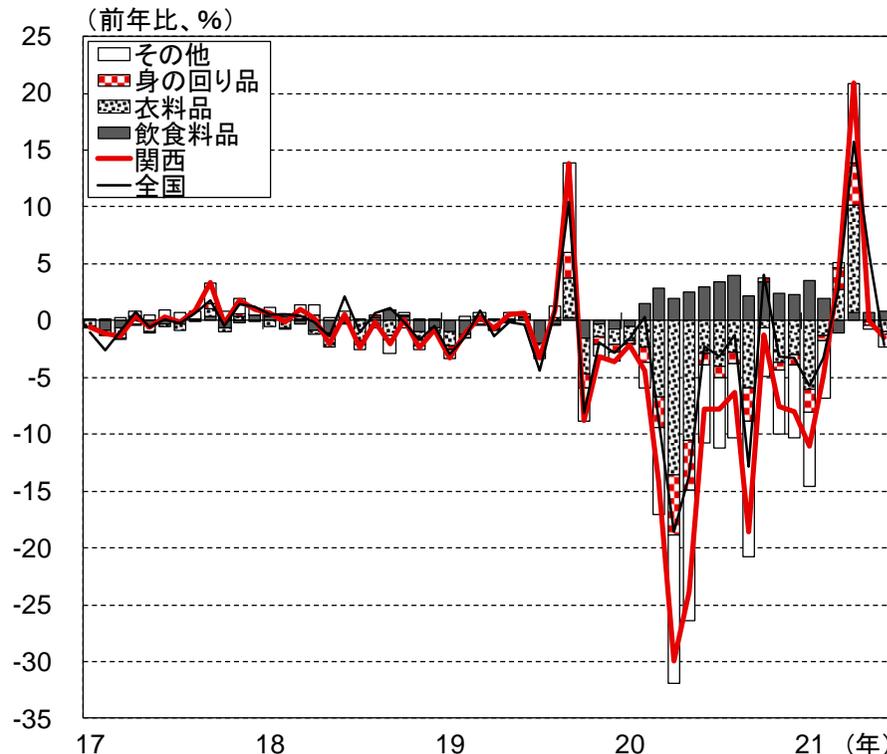
- 6月の有効求人倍率は1.10倍、前月比では+0.05ポイントと2カ月連続で上昇。雇用市場におけるウェイトの大きい大阪府では1.17倍、同+0.07%と5カ月ぶりに上昇転化したほか、全国を引き続き上回って推移。
- 6月の百貨店・スーパー販売額は前年比▲1.5%と4カ月ぶりに減少。業態別では、スーパーが同▲1.8%と5カ月連続で減少、百貨店が同▲0.9%と4カ月ぶりに減少。品目別では、飲食料品は増加が続いている一方、衣料品や身の回り品等は2カ月連続のマイナス。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

百貨店・スーパー販売額(関西)



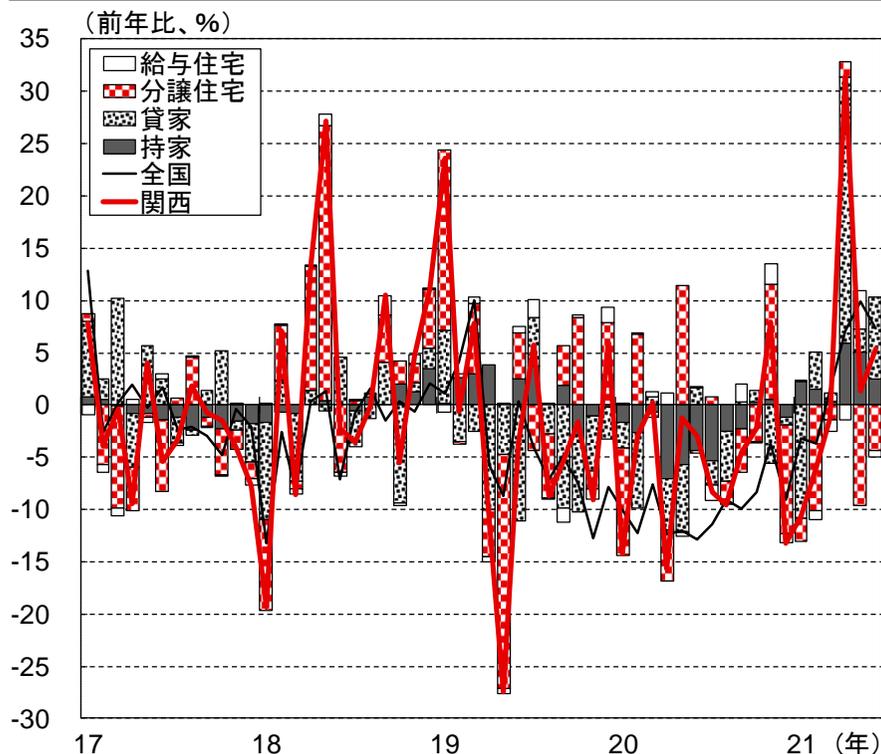
(注)「関西」は福井を含む2府5県

(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅投資・マンション販売

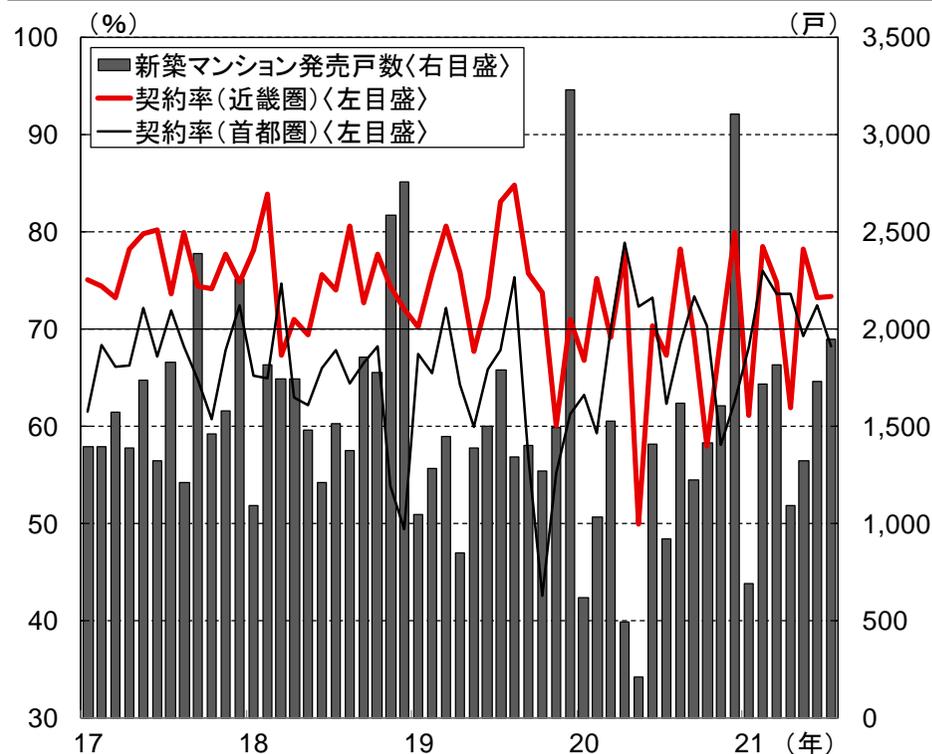
- 6月の新設住宅着工戸数は前年比+5.4%と3カ月連続で増加。用途別では、分譲住宅(同▲13.9%)の減少が続いた一方、持家(同+9.4%)や貸家(同+19.2%)の増加が継続。
- 7月の新築マンション発売戸数は前年比+111.7%と7カ月連続で増加。契約率は好不調の目安となる70%を上回っており、首都圏よりも高い水準で推移。コロナ禍下で郊外マンションを探す動きがみられるほか、都市部の投資用マンションが好調。

新設住宅着工戸数(関西)



(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新築マンション発売戸数と契約率(関西)

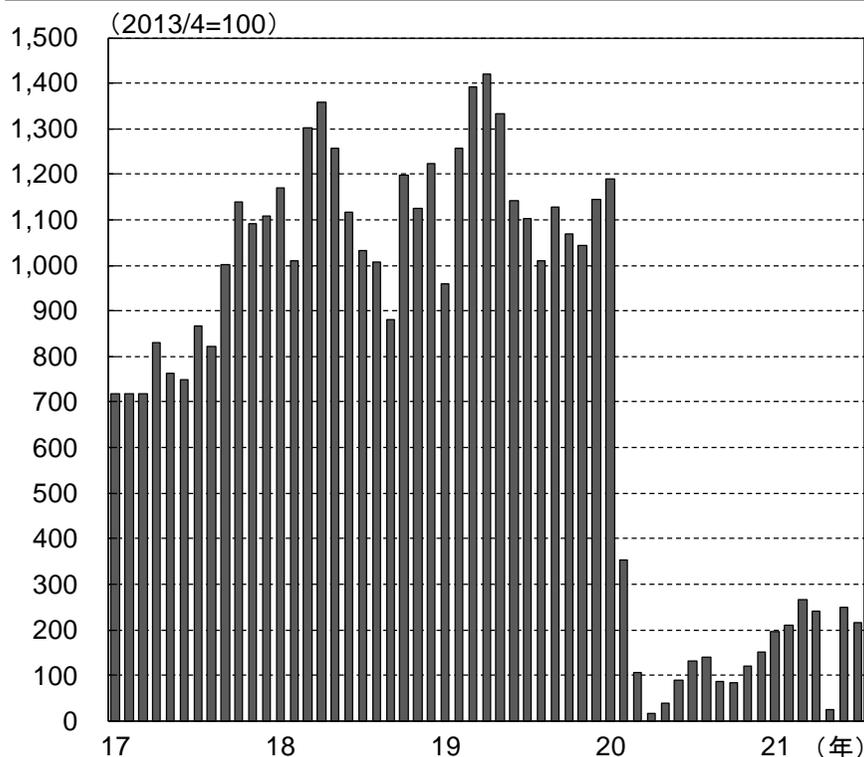


(資料)不動産経済研究所統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

百貨店免税売上高・外国人入国者数

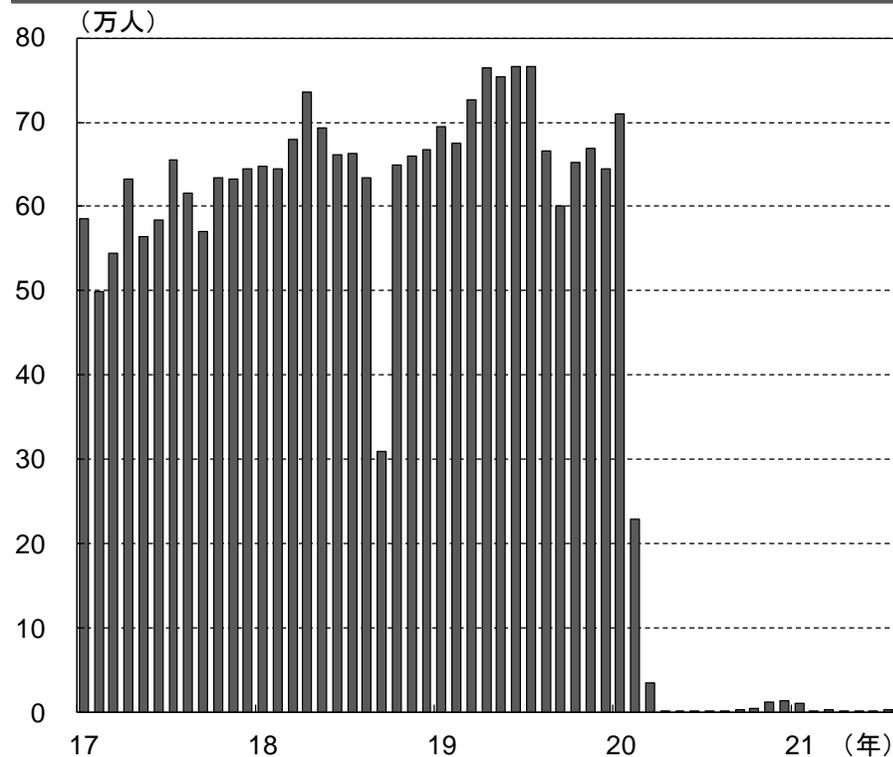
- 7月の百貨店免税売上高は、コロナ禍の影響を強く受けていた前年比では+63.2%と大幅に増加も、水準はコロナ禍前と比べ極めて低い状態が継続。
- 関西国際空港の7月の外国人入国者数は前年比+232.9%と4ヵ月連続で増加も、コロナ禍に伴う入国制限措置により、極めて低水準で推移。

百貨店免税売上高(関西)



(注)「関西」は大阪、京都、神戸の百貨店における消費税免税物品の購入額
 (資料)日本銀行大阪支店及び日本百貨店協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

外国人入国者数(関西国際空港)



(資料)法務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒541-8530 大阪市中央区伏見町3-5-6

照会先：土屋 祐真

e-mail: yuma_tsuchiya@mufg.jp